

研究主題

一人ひとりのよさや可能性を認め合いながら協働的に学ぶ児童の育成 ～協働的な学びを重視した授業改善を通して～

- 今日的な教育課題『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげる」を受け、児童の実態を踏まえて「協働的な学び」を重視していくこととした。
- 「協働的な学び」を重視した授業改善を通じて、一人ひとりのよさや可能性を認め合える児童を育てていくとともに、日々の授業改善を図っていくことで教員が互いに学び合いながら指導力を高めることも目指していく。
- 講師を招いた研究授業を3回行い、体育科における「協働的な学び」についての指導・助言を受けながら、授業改善を図り、体育科の内容、指導方法等の実践的研究を行う。

1 「協働的な学び」の意味

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会 令和3年1月26日）

- 「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう
- 一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す
- 多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し
- 児童生徒同士の学び合いや、多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする探究的な学び

「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」（文部科学省初等中等教育局教育課程課 令和3年3月）

- 子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」

「東京都教育施策大綱」（東京都 令和7年3月）

- 一人一人の個性を強みとして発揮できるよう、多様な人々と交流し、共に学ぶ環境を提供することが重要

本研究において、次のように捉えた。

「協働的な学び」＝ 児童が課題解決に向けて、一人一人のよさや可能性を生かしながら他者を参照したり、お互いに助言し合ったり、合意形成を図ったりすることで新たな視点を得たり考えを深めたりすること

「個別最適な学び」と「協働的な学び」それぞれの学びの一体的な充実

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

学習指導要領に示された資質・能力の育成

生きる力

2 協働的に学ぶよさ

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会 令和3年1月26日）

○ 一人一人のよい点や可能性を生かすことで，異なる考え方が組み合わせり，よりよい学びを生み出す

他にも次のようなメリットが考えられる。

問題解決能力の向上	複数の視点から問題を見つめ、議論を通じて解決策を導き出すことで、問題解決能力を高めることにつながる。
コミュニケーション能力の向上	意見交換や話し合いを通じて、相手の考えを理解し、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力を養うことができる。
多様性の理解促進	異なる背景や考えを持つメンバーと協働することで、多様性を尊重する意識を高め、社会性や協調性を育む。
自信の獲得	自分の考えを共有し、他のメンバーに理解してもらうことで、自己肯定感を高め、自信を持って学習に取り組めるようになる。
学習意欲の向上	グループで目標を達成する喜びを分かち合うことで、学習意欲を高め、より積極的な姿勢で学習に取り組むことができる。
深い学びの実現	多様な視点から情報を取り入れ、議論を通じて理解を深めることで、より深い学びを体験できる。
リーダーシップ力の育成	グループをまとめ、議論をリードする経験を通して、リーダーシップ力を養うことになる。